

「恒久法」の本質は 武力行使法(海外派兵・武力行使恒久法案)

憲法会議は1月23・24日、都内で議案検討のための担当常任幹事会を開催。憲法をめぐる情勢、恒久法制定・改憲阻止に向けた憲法会議の新たな役割等について議論を深めました。泊り込みの担当常幹は初めてのことで、各担当常幹は所属団体や労組の取り組みを文書にして討論に参加しました。議論が湧いたのは、政府が通常国会にも制定を狙っている「恒久法」のネーミングです。深い議論の末、標記ネーミングを決定、学習、宣伝を強めることとしました。

島根憲法会議が第一九回

市民憲法フォーラム開催

一月十九日、「個人の尊厳・男女平等と二五条」と題して、弁護士的光谷香朱子氏が講演。市民四名が参加しました。光谷氏は「いま安心して生活できる環境か」と問いかけ、自由権や社会権、参政権の重要性を力説、「平和とは、戦争のない状態ではなく、安心して生活できること」と講演をまとめました。

武力行使法の阻止を

五・三集会実行委員会が院内集会

一月十八日、五・三集会実行委員会が院内集会を開催、市民団体代表ら七〇名が参加。日本共産党・志位委員長、社民党・福島党首があいさつ、憲法審査会始動を許さず、恒久法制定阻止をめざして全力をあげようと誓いました。

五・三集会の記念講演は湯川さん

また、一月二十八日に開催された集会実行委員会で、〇八年五・三集会の記念講演を湯川れい子氏（音楽評論家）に決定しました。

新成人アンケート結果

—大阪憲法しんぶん速報版 No. 158から—

昨年と比べて、いまの政治への不満が急増

- ◆いまの政治に満足していますか（）内は07年
- ・不満 23.0% (22.3)
 - ・どちらかといえば不満 63.7% (44.0)
 - ・どちらかといえば満足 12.6% (31.3)

9条をかえることに反対も7割に！

- ◆憲法9条を変えることに（）内は07年
- ・反対 69.6% (64.7)
 - ・わからない 18.1% (18.8)
 - ・賛成 12.3% (16.5)

神奈川憲法会議

「日の丸・君が代」で県教委に要請

月二四日、神奈川憲法会議の森幹事長らは、県個人情報保護審議会が日の丸・君が代不起立教職員名の収集は「不適」としたことをふまえ、卒業式・入学式で「日の丸・君が代」の強制をするな、と強く申し入れました。県教委は、「答申の中身を精査、対応していきたい」と回答。参加者は「憲法を尊重した行政を貫くよう求めました。」